

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

当院における上部消化管内視鏡スクリーニング検査に内視鏡 AI が与えた影響に関する検討

●研究の対象

2025 年 1 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日に京都第二赤十字病院において、人間ドックとして上部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんを対象とします。

●研究の目的

近年、内視鏡検査の精度向上と検出率の改善を目的として、人工知能(AI)を活用した診断支援技術の開発が急速に進展してきています。AI による内視鏡画像診断支援システムの登場により、病変の見逃しを減らす可能性が示唆されている一方、AI からの支援を継続的に受けた結果、内視鏡医のスキルがむしろ低下したことを示唆する報告も存在してます。そこで、当院の上部消化管内視鏡スクリーニングの現場において、AI による内視鏡画像診断支援システムが検査成績や医師の行動に与える影響を検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から 2026 年 5 月 31 日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：年齢、性別、胃炎の程度、施行医の消化器内視鏡専門医資格の有無、検査所要時間、胃生検実施の有無、病変検出の有無

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありません。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜利用する者の範囲＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 消化器内科 佐伯 洋輔

＜試料・情報の管理について責任を有する者の名称＞

京都第二赤十字病院 院長

＜試料・情報の利用の停止（受付方法含む）＞

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の＜問い合わせ先＞にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

＜問い合わせ先＞

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：消化器内科 佐伯 洋輔

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）